

避難訓練の年間指導計画

1 年間を通して幼児に身に付けさせたい力

様々な災害が発生することを知り、災害の状況に応じて、適切に避難できるようにする。

- (1) 話を聞いて、必要なことに気付く。
- (2) 分かったことを基に予測し、見通しをもって行動する。
- (3) 自分の命を大切にする気持ちをもつ。

2 年間計画（◇：3歳児 ◆：4・5歳児）

| 月 | 想定 | ねらい | 幼児が経験する内容 | 教師が意識するポイント |
|----|------------------------------------|--|--|--|
| 4 | 地震 (集合時) 予告あり | ◇避難訓練があることを知る。 ◆地震発生時の身の守り方を確認し、避難する。 | ・放送や教師の指示を静かに聞く。 ◇避難訓練の様子を見る。 ◆物が「落ちてこない」、「倒れてこない」、「移動してこない」場(★)に移動し、ダンゴムシのポーズをとる。 | ・落下や転倒、移動の可能性のあるものを、幼児に気付かせる。 ・「防災頭巾を被る」、「ダンゴムシのポーズをとる」ことが自分の命を守るということを知らせる。 |
| 5 | 地震 (集合時) 予告あり | ◇地震発生時の身の守り方を知る。 ◆避難する。 | ◇教師と一緒にダンゴムシのポーズをとったり避難したりする。 ◆★を自分で考えて移動し、ダンゴムシのポーズをとる。 | ・4月の避難訓練の経験を思い出させ、自分で考えたり行動できたりしたことを認め、自信がもてるようにする。 |
| 6 | 火災 (集合時) 予告あり | ◇火災発生時の身の守り方を知る。 ◆避難する。 | ◇教師に手伝ってもらいながら防災頭巾を被る。「おかしも」を知り、教師と避難する。 ◆ハンカチで口や鼻を覆い、避難する。「おかしも」を守って避難する。 | ・「おかしも」の行動が想像できるような視覚教材を活用する。 ・3歳児になぜ口や鼻を覆わなければいけないのかを伝える。 |
| 7 | 火災 (水遊び) 予告あり | ・水遊び中の身の守り方を知る。 | ・プールから出て安全な場所に避難する。 ・プールから速やかに出る。 ・ビーチサンダルや靴を履く。 ・バスタオルを羽織る。 | ・水の中で焦らず落ち着いて行動できるように声掛けする。 |
| | 地震 (集合時) 引き渡し予告あり | ◇「南海トラフ地震関連情報」発信時の行動の仕方(※)を知る。 ◆※を確認し、行動する。 | ・速やかに防災ヘルメットを被り、帰りの支度を済ませる。 ・保護者の迎えが来るまで教師と一緒に待機する。 | ・手遊びをするなどして幼児が安心して待つことができるようにする。 |
| 9 | 地震・津波 (集合時) 予告あり | ◇緊急地震速報発令時、津波警報発令時の身の守り方(※)を知る。 ◆※を確認し、行動する。 | ・津波発生時には高いところへ避難すると身を守れることが分かる。 ・教師と一緒に階段を上って避難する。 | ・避難訓練以外に、高いところの避難場所へ何度か通い、経路や場に慣れさせる。 |
| 10 | 地震・火災・停電 (好きな遊び) 予告あり | ◇地震・火災・停電発生時の行動の仕方(※)を思い出しながら教師と行動する。 ◆※が分かり行動する。 | ・地震・火災・停電時の行動の仕方を知る。 ・教師の指示に従い、落ち着いて行動する。 | ・懐中電灯を使い避難しやすいようにしたり、幼児を安心させたりする。 |
| | Jアラート (小学校と同じ) 予告あり | ◇Jアラート発令時の行動の仕方(※)を知り、教師と行動する。 ◆※が分かり、速やかに行動する。 | ・Jアラートを聞き、速やかに室内に避難することを知る。 ・教師の指示に従い、落ち着いて行動する。 | ・事後指導でJアラートを流し、音に慣れて安心して行動できるようにする。 ・役割を分担し、状況を伝達しながら連携して幼児の安全を守ることができるようにする。 |
| 11 | 火災 予告なし | ・火災発生時の身の守り方が分かり速やかに行動する。 | ・それぞれの活動内容や活動場所に応じた避難の仕方を知り、行動する。 ・手に持っているものを置く。 | ・ヘルメットの着用とハンカチで口と鼻を覆うことを促す。 ※学級ごとに異なる場所での遊び時 |
| 12 | 不審者 (一斉活動時) 予告あり | ◇不審者侵入時(※)の身の守り方を知る。 ◆※の身の守り方が分かり行動する。 | ・緊急放送を聞き、教師の指示をよく聞いて行動する。 ・ホールで静かに待機する。 | ・防護盾やさすまたの場所を全員で共有する。 ・幼児に不安感を与えないようにする。 |
| 1 | 火災 (好きな遊び) 予告なし | ・予告なしの状況で教師の指示や放送を聞き行動する。 | ・火災が発生した時の行動の仕方を理解する。 ・小学校校庭への避難の仕方を知り、速やかに行動する。(二次避難) ・揺れが落ち着いたら避難する。 | ・二次避難場所への経路を確認する。 |
| 2 | 地震 (弁当時) 予告あり | ・教師の指示や放送を聞き行動する。 | ・昼食時の身の守り方を知る。(持っているものを机の上に置き、机の下に避難する) | ・落ち着いて行動できる声掛けをする。 |
| | 地震・火災 (預かり保育) 予告あり 管理職不在時 | ・預かり保育担当の教師の指示や放送を聞き行動する。 | ・預かり保育の時間における地震発生時の身の守り方や避難の仕方を知り、自分で行動する。 ・自分で防災頭巾の着脱をする。 | ・預かり保育の幼児を把握する。 ・担任間で連携を図り、判断・指示をして幼児の安全を確保する。 |
| 3 | 地震・火災 (好きな遊び) 予告なし | ・自分の身を自分で守る大切さが分かり、考えて行動する。 | ・地震発生時の身の守り方や避難の仕方を知り、自分で行動する。 ・東日本大震災について知り、自分の身を自分で守ることの大切さを知る。 | ・誰がどこで遊んでいるか、非常勤講師や介助員とも連携しながら把握する。 |

地震警戒宣言発令時の引き渡し訓練

幼稚園 3・4・5歳児（2・3年保育）

- 1 題材名 「南海トラフ地震関連情報」発信時、地震警戒宣言発令時の避難訓練
- 2 ねらい 地震警戒宣言発令時の行動の仕方を知り、避難ができるようにする。
- 3 訓練の実際

【想定】
 ① 緊急地震速報発令
 ② 津波警報発令時の避難

| | 時間の推移 | 幼児の動き | ◎支援・留意点 ■評価 |
|------|---|--|---|
| 事前指導 | | ○避難訓練が始まることを知る。 | ◎怖がらず取り組めるように指導する。 ◎園から保護者に緊急メールを送信し、引き渡し準備を開始する。 |
| 避難訓練 | ○地震警戒宣言発令 ○降園準備  | ○担任の話を聞き行動の仕方を知る。 (速やかに降園準備をする、防災ヘルメットを被る、外靴に履き替える) | ◎防災頭巾の役割と正しい被り方を指導し、「おかしも」を確認する。 ◎必ず保護者が迎えに来ることを伝え、安心させる。 |
| | ○各保育室で待機 | ○保護者の迎えを保育室で待つ。 | ■避難の準備を行い、安心して保護者の迎えを待っている。 |
| | ○引き渡し開始  ○引き渡し完了 | ○迎えに来た保護者と降園する。 | ◎感染症対策として、保護者の順路を一方通行とし、密集を避けるようにする。 ◎引き渡しの状況に応じ、残留する全ての幼児を、1か所に集める。 |
| 事後指導 | (翌日) | 【各学級】 ○避難訓練を振り返り、良かったところなどを話し合う。 | ◎地震警戒宣言発令時の危険や行動の仕方について確認をする。 ◎訓練時の幼児の様子から、安全に行動していた姿を認める。 |